

高橋 明郎 教授年譜

1958年（昭和33年）

9月15日 茨城県水戸市に生まれる

1977年（昭和52年）

4月 筑波大学第2学群比較文化学類入学

1981年（昭和56年）

4月 筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科入学

1987年（昭和62年）

4月1日 香川大学助手教育学部に採用

1988年（昭和63年）

4月1日 香川大学講師教育学部に昇任

1989年（平成元年）

4月1日 香川大学助教授教育学部に昇任

1995年（平成7年）

4月1日 香川大学助教授経済学部に配置換（香川大学助教授教育学部併任平成10年3月まで）

2000年（平成12年）

5月1日 香川大学教授経済学部に昇任

2010年（平成22年）

4月1日 経済学部地域社会システム学科長に併任（2012年3月まで）

2011年（平成23年）

4月1日 アーツ・サイエンス研究院教授に配置換

5月1日 アーツ・サイエンス研究院副院長に併任（2012年3月まで）

2012年（平成24年）

4月1日 経済学研究院教授に配置換

2013年（平成25年）

4月1日 人文社会科学系教授に配置換

2014年（平成26年）

4月1日 国立成功大学（台湾）客座研究員（2015年3月まで）

2018年（平成30年）

4月1日 大学教育基盤センター国際教育部長に併任（2022年3月まで）

2024年（令和6年）

3月31日 香川大学退職

4月1日 香川大学名誉教授を授与される

高橋 明郎 教授著作目録

I. 研究業績

1. 著書及び論説

A. 著書

1. 学術書（編著・共著・分担執筆）

- (1) 『中国語成語辞典』（牛島徳次編・分担執筆）東方書店，平成6年11月，364頁～379頁143項目及び補遺50項目
- (2) 「曾鞏の文学理論」『中国文人論集』（村山吉廣ほか24名と共著）明治書院，平成9年5月，186-199頁
- (3) 「天涯」『詩語のイメージ～唐詩を読むために』（松本肇ほか13名と共著）東方書店，平成12年12月，19-32頁
- (4) 『唐宋八家文読本五』（向島成美と共著）明治書院，平成16年7月，1-7頁，186-437頁
- (5) 『唐宋八家文読本六』（向島成美と共著）明治書院，平成27年5月，557-649頁，747-938頁（本巻は441頁から開始）

2. 校訂・加註

- (1) 『苦雨戀春風 青年鍾肇政初戀情書集』（錢鴻鈞ら3名と校訂）財団法人世聯倉運文教基金会，平成27年2月
- (2) 『青春物語 日治時期一位十九歳淑女的日記』（張良澤編高坂嘉玲ほか5名と校訂）秀山閣，平成28年5月
- (3) 『西川満日記』（張良澤と共著，全書校訂・加註）国立台湾文学館，令和3年1月

3. 教科書

- (1) 『漢語 語法和会話』（王維，毛勇ら6名と共著）白帝社，平成22年3月，全18課のうち7，8，13～15，18課語法部分執筆及び主編 *平成27年に改訂版も出版

4. 一般書

- (1) 『中国名言名句の辞典』（宋代出典項目を分担執筆）小学館，昭和63年12月
- (2) 『唐宋八大家文読本〈蘇軾〉』（向島成美と共著）明治書院，平成30年9月

B. 論説

1. 陳祥道の『論語全解』に関する一考察
『漢文学会会報』40号, 昭和57年6月, 1-11頁
2. 西崑体の余派について
『漢文学会会報』42号, 昭和59年6月, 51-64頁
3. 欧陽脩の散文の文体(一) - 助字及び反復の二点について
『筑波中国文化論叢』4号, 昭和59年9月, 1-14頁
4. 欧陽脩の散文文体の特色 - 韓愈の散文との差の成因
『日本中国学会報』38号, 昭和61年10月, 156-170頁
5. 欧陽脩の文学理論 - 『梅聖俞詩集序』をめぐって(第一部)
『香川大学教育学部研究報告』第1部75号, 昭和63年1月, 1-20頁
6. 欧陽脩の文学理論 - 『梅聖俞詩集序』をめぐって(第二部)
『香川大学教育学部研究報告』第1部75号, 平成元年1月, 1-20頁
7. 碑銘はどう書かれたか - 欧陽脩を中心とした概観
『新しい漢文教育』10号, 平成2年10月, 110-120頁
8. 蘇軾の「窮」と「工」をめぐる理論について
『漢文学会会報』51号, 平成5年6月, 33-44頁
9. 中国文学における身体描写 序説
『香川大学教育学部研究報告』第1部93号, 平成7年1月, 75-93頁
10. 変化の胎動 - 『少年大頭春的生活週記』と台湾社会の変化
『香川大学経済論叢』第74巻第2号, 平成13年9月, 75-90頁
11. 日記体裁的学校小説 - 『大頭春的生活週記』及『学校同学』(林欣儀訳)
『台湾文学評論』2巻第1期, 平成14年1月, 260-273頁
12. 『幼獅』創刊 - 救国団と台湾反共文学
『香川大学経済論叢』第82巻第4号, 平成22年3月, 43-68頁
13. 『幼獅少年』創刊の時代
『香川大学経済論叢』第84巻第4号, 平成24年3月, 17-39頁
14. 『幼獅少年』創刊期の記事と作家たち
『香川大学経済論叢』第85巻第4号, 平成25年3月, 5-29頁
15. 『幼獅少年』初期の編集 - 民國70年度誌面の分析
『香川大学経済論叢』第86巻第4号, 平成26年3月, 1-25頁

16. 台湾の政治・社会と少年雑誌編集－民國 65～70 年代の『幼獅少年』を例に（第一部）
『香川大学経済論叢』第 87 卷第 3・4 号，平成 27 年 3 月，83-102 頁
17. 鍾肇政の日本文に見える特徴について－『苦雨戀春風』と周辺資料から
『香川大学経済学部研究年報』55 号，平成 28 年 3 月，1-26 頁
18. 台湾の地方青少年向け出版物の機能－『南市青年』と政治記事
『香川大学経済学部研究年報』56 号，平成 29 年 3 月，1-22 頁
19. 台湾地方都市の音楽生活－1970 年代台南を例に－
『香川大学経済学部研究年報』57 号，平成 30 年 3 月，1-23 頁
20. 戦後台湾の青少年出版物の研究－初期の『南一中青年』の状況について
『香川大学経済論叢』第 91 卷第 3・4 号，平成 31 年 3 月，53-78 頁
21. 戦後台湾の青少年出版物－台南地区の國中校刊を例に－
『香川大学経済論叢』第 92 卷第 4 号，令和 2 年 3 月，1-18 頁
22. 台湾の地方青少年出版物－民國 70 年前後の『南市青年』とその編集
『香川大学経済論叢』第 93 卷第 4 号，令和 3 年 3 月，1-16 頁
23. 『西川満日記』補注
『香川大学経済論叢』第 94 卷第 2 号，令和 3 年 9 月，1-14 頁

C. 研究ノート

1. 中華民國 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 内政編 1
『香川大学経済論叢』第 73 卷第 4 号，平成 13 年 3 月，223-234 頁
2. 中華民國 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 社会事件編 1
『香川大学経済論叢』第 74 卷第 4 号，平成 14 年 3 月，331-343 頁
3. 中華民國 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 人物編
『香川大学経済論叢』第 75 卷第 4 号，平成 15 年 3 月，319-332 頁
4. 中華民國 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 社会事件編 2
『香川大学経済論叢』第 76 卷第 4 号，平成 16 年 3 月，79-96 頁
5. 中華民國 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 社会事件編 3
『香川大学経済論叢』第 77 卷第 4 号，平成 17 年 3 月，219-233 頁
6. 中華民國 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 内政編 2
『香川大学経済論叢』第 78 卷第 4 号，平成 18 年 3 月，45-64 頁

7. 中華民国 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 社会事件編 4
『香川大学経済論叢』第 79 巻第 4 号, 平成 19 年 3 月, 219-233 頁
8. 中華民国 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 内政編 3
『香川大学経済論叢』第 80 巻第 2 号, 平成 19 年 9 月, 176-184 頁
9. 中華民国 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 社会事件編 5
『香川大学経済論叢』第 80 巻第 4 号, 平成 20 年 3 月, 149-164 頁
10. 中華民国 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 兩岸關係編
『香川大学経済論叢』第 81 巻第 4 号, 平成 21 年 3 月, 223-234 頁
11. 中華民国 80 年の社会～『少年大頭春的生活週記』の台湾 社会事件編 6
『香川大学経済論叢』第 83 巻第 4 号, 平成 23 年 3 月, 313-333 頁
12. 民國 100 年北台媽祖文化節について
『香川大学経済論叢』第 85 巻第 1・2 号, 平成 24 年 9 月, 125-144 頁

D. 学会・学術研究集会報告等

1. 講演「身體形象在文學」

主催単位：国立成功大学台文系, 所：国立成功大学力行校区, 平成 26 年 6 月

2. 講演「音楽與經濟狀況 二戰後日本の經典音楽接受, 教育・提供」

主催単位：真理大学応用日本語系, 所：真理大学淡水校区, 平成 29 年 3 月

3. 報告「日治期教育を受けた台湾人の私的文書から読み取れるもの」

The 7th NCYU-KU Workshop, 所：国立嘉義大学, 令和元年 10 月

E. その他

1. 馬瑞辰『十五國風次序論』訳註

『詩経研究』7 号, 昭和 57 年 7 月, 10-15 頁

2. 初修外国語としての中国語教育－本学の現状と課題

『香川大学一般教育研究』40 号, 平成 3 年 10 月, 75-90 頁

3. 香川大学における中国語教育（第一部）

『香川大学教養教育研究』創刊号, 平成 8 年 3 月, 49-62 頁

4. 香川大学における中国語教育（第二部）

『香川大学教養教育研究』5 号, 平成 12 年 3 月, 141-150 頁

5. 開学当初あれこれ

TONGXUE 30 号, 同学社, 平成 17 年 9 月, 7-9 頁

6. 從淡水一角到大展－回顧西川滿藏書與臺文館
『臺灣文學評論』第12卷4号，真理大学台湾文学資料館，平成24年10月，92-99頁
7. 張良澤・高板嘉玲編「苦雨戀春風 青年鍾肇政初戀情書集」（書評）
『天理台湾学会報』25号，平成28年7月，196-200頁
8. 綿綿相傳
『鹽分地帯文學』71号，台南市政府文化局，平成29年11月，224-226頁

II. 外部資金獲得状況

1. 科学研究費補助金（単独研究）

- (1) 平成22年度～平成26年度 基盤研究(C)「中華民国の文芸政策と少年雑誌の關係についての研究－『幼獅少年』の創刊と展開」（課題番号22520367）交付総額3,250千円

III. 所属学会

- | | |
|--------|------------------------|
| 中国文化学会 | 昭和56年7月～現在（理事 平成6年～現在） |
| 日本中国学会 | 昭和56年10月～令和5年3月 |
| 日本台湾学会 | 平成16年7月～現在 |
| 天理台湾学会 | 平成16年7月～現在 |

IV. 教育活動

1. 学部・大学院等の授業・演習名

A. 学部開設科目

日中比較文学，漢文学特殊講義，東アジア論，現代中国研究，アジア文化論，中国文化論，文化社会論（グローバル社会概論），言語と社会，海外研修（台湾）外国語演習（中国語），演習，個別演習（旧演習Ⅰ，演習Ⅱ），プロゼミナール，大学入門ゼミ

B. 全学共通開設科目

中国語基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，中国語上級「読解」，主題B「世界の言語」，舞台芸術の世界（主題）

C. 大学院開設科目

中国文化論特殊講義，台湾論特殊講義，個別演習

V. 管理運営面の活動

1. 管理職・委員（一部省略）

- ・経済学部教務委員会委員長：平成19年4月～平成21年3月
- ・経済学部地域社会システム学科長：平成22年4月～平成24年3月
- ・アーツ・サイエンス研究院副研究院長：平成23年5月～平成24年3月
- ・経済学研究科運営委員会委員長：平成29年10月～平成31年3月
- ・大学教育基盤センター国際教育部長：平成30年4月～令和4年3月

VI. 社会的活動

1. 他大学での非常勤講師

- ・放送大学（面接授業担当）「台湾の公共交通」：平成30年4月～平成30年9月

2. その他

- ・日本中国語検定協会／中国語試験高松会場責任者：平成19年4月～平成22年3月
- ・香川大学生活協同組合 役員（代表理事）：平成25年5月～平成26年5月